

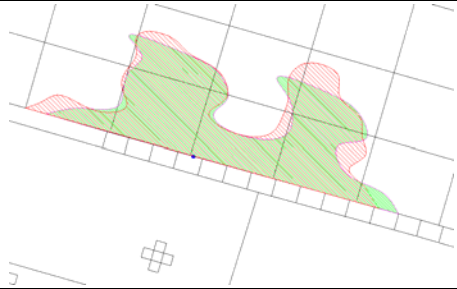
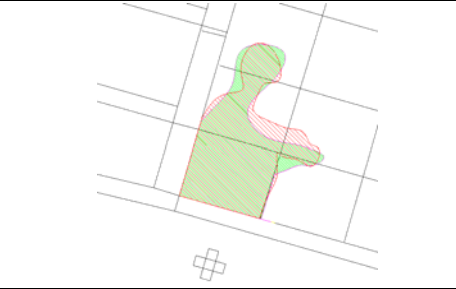


2. 空洞化調査

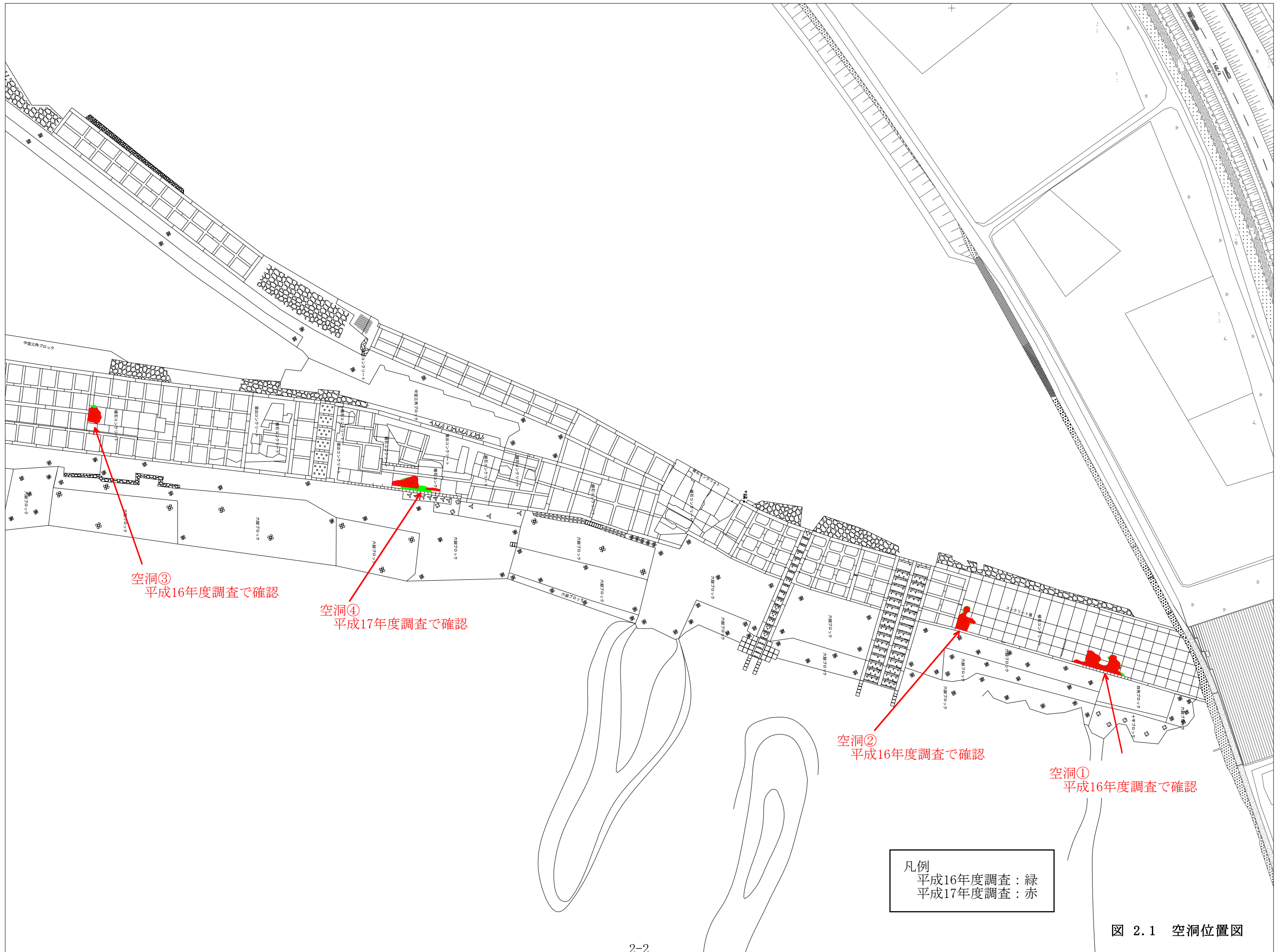
空洞化調査の結果、新たな空洞は確認されなかった。

また、昨年度調査により「空洞化の可能性有り」とされていた「空洞④」については、コア削孔及び写真撮影により空洞の存在が確認された。

以上より、第十堰において確認された空洞は「空洞①～④」の4箇所である。(次ページ参照) 各空洞の昨年度調査との比較を下表に示す。

表 2.1 空洞状況

		空洞①	空洞②
面積	H16	70.4 m ²	37.8 m ²
	H17	69.6 m ²	39.0 m ²
空洞厚		0.43 m	0.43 m
容積	H16	30.3 m ³	16.3 m ³
	H17	29.9 m ³	16.8 m ³
昨年度との比較		ほとんど拡大なし	ほとんど拡大なし
模式平面図 緑：H16 赤：H17			
		空洞③	空洞④
面積	H16	19.8 m ²	40.5 m ²
	H17	27.7 m ²	39.2 m ²
空洞厚		0.27 m	0.45 m
容積	H16	5.3 m ³	18.2 m ³
	H17	7.5 m ³	17.6 m ³
昨年度との比較		やや拡大傾向あり	ほとんど拡大なし
模式平面図 緑：H16 赤：H17			



空洞③
平成16年度調査で確認

空洞④
平成17年度調査で確認

空洞②
平成16年度調査で確認

空洞①
平成16年度調査で確認

凡例
平成16年度調査：緑
平成17年度調査：赤

図 2.1 空洞位置図